

第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画策定手続きパブリックコメント等 意見一覧

意見数：17名（うちWeb利用12件）、24件

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
1	策定方針（案）	1.計画の趣旨	「選ばれる伊賀市」になる為には、伊賀市ならではの、伊賀市でないと…という伊賀市の魅力が市民である私たちにも見えてないのが現状だと思います。伊賀市を訪れる方のお話を聞かせて頂くと、市民である私達以上に伊賀米について良く知ってくれています。伊賀市のこの地域に、こんな美味しいお米が作られているとか、逆に私達の方が地元について知らない事が多いと実感します。まずは、私達市民が伊賀市を知る、それも大事な事だと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
2	全般	—	人を呼び込むには駐車場が少な過ぎると思います 鉄道の列車運行頻度は少ない為、市外、県外からの来訪者は車による訪問手段が多くなると思います 市内在住者でも車による移動が便利で有るが、大きな行事が行われる時は駐車場が無い為、敬遠してしまうのでは？ 魅力有る施設作りと同時に到着後の対策作りも重要と思います	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
3	策定方針（案）	3.策定体制	「……パブリックコメントやタウンミーティングにより、市民の意見を反映する体制を整えます。」の後に、次の文章を追加してはどうでしょうか。 『加えて、観光集客・定住の主なターゲットとなる京阪神在住者のニーズを反映するため、京阪神在住者のグルーピングインタビュー・アンケートを実施・検討する専門委員会を設置します。』 〔この記述を追記する理由〕・中心市街地に賑わいを創出するにあたって、観光来訪者、定住者を増やすことが最終目的になります。・その際には、ターゲットとすべき方々のニーズを踏まえることが必須であるので、基本計画策定の段階からその意向を反映する必要があると考えます。・具体的には、「伊賀は関西」との意識が強い伊賀市にあっては、京阪神居住者が重要なターゲットですから、伊賀市在住者で構成すると思われるワークショップやタウンミーティングと並立的に、京阪神居住者を対象としたアンケート調査・グルーピングインタビューを実施・検討する専門委員会を設置してはどうでしょうか。・グルーピングインタビュー、アンケート調査を実施する場合、在版の調査研究機関に委託するのがよいと思いますが、予算的に厳しければ、関西大阪三重県人会に協力を求めて市が直営で実施することも考えられます。	来街者の意見を伺う機会や、市外のターゲット層の伊賀市に対する意識調査等について、関係団体と協力して調査・分析を検討します。	○
4	全般	忍者回廊について	訪日外国人にはとても良いと思いますが、宿泊を含めた食事、イベント、入浴等を街全体的にエリアを作り、総合的に提供出来れば良いと思います。まだ忍者市を名乗るのならば、上人、中人、下人のルーツの検証(伊賀市のような)は必須だと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
5	全般	—	とりあえず中心地について考えるなら空き家、空き店舗ふくめ複数の建物を一つのホテル等として、各建物が宿泊を含めた部屋といった考えで例えば「星野リゾート」のようなところと組む形で施設を作ることができないでしょうか。 また、伊賀市は旧上野市中心部も含め人口の減少が大きくこのままでは10年後までに人口が5万人以下に間違いなくなくなると思います。 人口減少の食い止め、集客による経済活性化を考え中心市街地だけでなく第二名神と名阪に車のアクセスのよいところ(旧伊賀町)付近の開発が積極的に行えるように条例の見直し等を行う必要があると考えます。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
6	策定方針（案）	1. 計画の趣旨	今はないかつての「大内ドライブイン」は伊賀市への入り口の役目を持っていたと思われる。観光バスや車の集合場所で土産物や食堂、地域の特産品等あり、このような機能を持つ施設が、今の中心という上野市駅にはないように思われる。未だ人が集まる賑わいどころとは言えないと思う。有名な店の出店コーナー、特産品の展示販売、又、同時に東西方向や円周方向への移動手段の充実も考えることが必要と思われる。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
7	全般	—	観光については、もっと魅力的な施設や公園などが必要だと思う。古い市役所跡に宿泊したいと思わない。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
8	策定スケジュール（案）	市民参加について	ワークショップはもっと回数が多くて良いのではないかと思う。	市民ワークショップに限らず、地域や事業者へのヒアリングも計画しています。	—
9-1	全般	—	パブリックコメント等の市民参加の期間、回数が少なく有りませんか	市民ワークショップに限らず、地域や事業者へのヒアリングも計画しています。	—
9-2	全般	—	伊賀市から県外へ出ている若い人の外からの視点で見た意見も必要です	来街者の意見を伺う機会や、市外のターゲット層の伊賀市に対する意識調査等について、関係団体と協力して調査・分析を検討します。	○
9-3	全般	—	伊賀市の観光資源は他にも鍵屋の辻、養虫庵等があり点と点で繋ぐのではなく面で考える	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
9-4	全般	—	観光客が市街地へ流れるようにする例えば高山市街地や彦根市キャスルロードの様に	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
10-1	全般	—	忍者の観光施設より、花畑や公園の方がよい。老若男女楽しめる。また、花が咲くと人は見にくるし、写真も撮りたいので観光ついでにいいと思う。忍者だけでは限界だと思う。松阪ヘルファームやなばなの里、ブルーメの丘などのような施設を市役所の跡地、上野公園や桃青中の跡地を全体的に使うといい。今の案はあまり継続的な集客効果は期待できない。今のままの案なら星のリゾートなど有名な企業を誘致するべき。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
10-2	全般	—	お店も信楽のようなお米専門店やタルト専門店など魅力的な店が必要。伊賀はお米も特Aランクなので特産物や地産地消としていいと思う。滋賀の日野の観光協会がやっている「みかく」というお店があるが、伊賀もあると地域感もでてよい。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
11-1	全般	—	観光 1. 伊賀市は忍者市と宣言しているのに忍者体験が出来る名張などその他の地域に大きく遅れている為、実体験の場としての忍者体験場所（ARも利用して伊賀忍者を体験できる場）の創設 2. 上記1に連動しARで伊賀上野城、公園、神社等を巻き込み伊賀全体を遊べる場とする 3. 伊賀には飲食店が少なく美味しい伊賀牛、伊賀米、地場の野菜等素晴らしい食材を使ったグルメ体験が出来る場所が必要 4. 日本人、インバウンド両方の観光客が楽しめる忍者市にする必要がある	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
11-2	全般	—	伊賀市 1. 中心市街地活性化は観光の力だけに頼るのではなく伊賀市としてにぎわいが必要であり伊賀市の人口を増加させる思い切った施策を打ち出す 例：子供一人につき100万円、3人目からは200万円のお祝い金を支給する。ただし支給を受けた家庭はその子が成人になるまでは両親、子供共住民票は伊賀市から変更しないようにしてもらう 2. コストコといった伊賀市周辺に住んでいる人が来る施設の誘致 3. 蛇の寝床のような伊賀市中心街、過疎化で人が少ない市街地の特徴を生かし自動運転、自動配送といったAIを使ったデータ収集の実験都市に立候補する 4. 伊賀盆地に守られ台風や津波といった自然災害に強い町を全国にアピールする 5. 他国からの脅威（ミサイル、ドローン等）に対して伊賀市民が避難できる場所（地下施設、シェルター）を整備し安心して生活できる町にする	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
12	策定方針（案）	1.計画の趣旨 回遊性の向上・「にぎわい忍者回廊整備事業」	歩道や地下道は既にありますが、観光客が街歩きをし、気になった店舗にふらっと入る様な道路環境が銀座通りにならないと思います。丸之内の交差点の伊賀線を地下化し、ハイトピア周辺まで車が並ばない様にしたり、銀座通りに一部、歩行者天国の曜日・時間帯を設ける、銀座通りを1車線に減らす等、歩行者・自転車中心の城下町ができて、観光の恩恵が地域経済に波及していくのではないかと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
13	全般	旧上野市庁舎改修整備 駅前広場	観光客も大事ですが市民に優しい有効活用が1番です。市民は旧市役所 公園の駐車場を無料にしてください。お城や忍者屋敷へももっと行きたいが市民割引きもありません。何のともなしでは残念です。市駅前広場は定期的キッチンカー出店を望みます。町中へ行っても満足する買い物もできずトキメク施設もなして足も向きません。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
14	策定方針（案）	1. 計画の趣旨	転勤4年目です。住んでみると素晴らしい街だと思いますが、はたして観光に来た時にリピーターになるかと思えばそうではないです。素晴らしい文化や食材があるのに忍者のみ勝負にでる考え方が残念です。古民家や空き店舗活用事業は病気で例えるな対処療法に過ぎず、予防処置になっていません。住みたい街にすれば人は集まり、空き家と空き店舗はなくなります。他の地方都市と比べると個人店舗の頑張りのみとめますが、観光目線で考えるとそれらが点で存在しており残念に感じます。舞鶴市では「とれとれセンター」、姫路城では「高田の馬場」のような購買意欲を湧き立てる施設があります。ここに行けば買物と食事が楽しめるといった施設があります。よそ者が観光に来た時に、なかなか個人商店をめぐるのは土地勘やお店の信頼度が判断できないので不安になります。またリピーターとして来たいにはつながりません。ここにいけば伊賀が満喫できるといった施設があればリピーターを期待できます。忍者だけではリピーターを期待できないと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
15	策定方針（案）	3.策定体制について	法的根拠のある「伊賀市中心市街地活性化協議会」が出された意見ののっとり計画を策定されるのか、また、タウンミーティングやパブリックコメントの市民からの出された意見について、全て反映するのか、精査及び協議されるのか明記する必要があると思います。	計画策定にあたり、中心市街地活性化に関する法律第9条第6項の規定に基づく中心市街地活性化協議会からの意見や、パブリックコメントやタウンミーティングで出された市民の意見を反映させるかどうかは計画策定委員会で協議します。意見の取扱いについて明記するかどうか検討します。	—

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
16	全般	中心市街地から市全体の活性化	重要な観光産業において、高齢化を含み、幅広い世帯の健康に関心があります。例えば、パンフレットでは市街の名所旧跡全体地図はありますが、目的別回遊の道順をパンフレットとして作成することにより、(芭蕉の句をめぐるコース・歴史を巡るコース・忍者ゆかりを巡るコース・花を巡るコース・山川の自然を巡るコース等々、今までもやっておられるのですが) 徒歩2km・3kmの道順を探索しながら、観光客がいつでも自由に市街地中心部だけに限らず周辺に足を向けることができるように、また市民の伊賀市の市街地周辺も含めた再発見とウォーキングを絡めた健康づくりにいいのではと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—
17-1	全般	—	この十年程で、伊賀市の市街地は以前より魅力的になったと有り難く感じています。 でも 商店街の寂しさは進む一方に思えます。 宿泊施設を充実させても、観光客が楽しむ事ができなければ、リピーターは見込めません。 市は宿泊客ばかり重視しているように思えますが、日帰りで気軽に訪れ、何度も来たいと思ってもらえる伊賀を目指せないでしょうか。 大阪万博の影響を考えていますが、このままでは、奈良や滋賀を越えて、遊びに寄ってくれるとは思いにくいです。他に、街が整った素敵な観光地は、いくらでもあります。 若い人から、「新名神高速道路もあるし、伊賀には寄らんやろ」と、言う声も聞きました。真偽はわかりませんが、若い人は、現在のこと詳しく、様々なことを冷静に見ているのではないのでしょうか。 ただと正直、このような意見募集では、なかなか声が集まりにくいです。何事も、市の計画は、広報以外にも、もっと市民に情報発信をして、幅広い意見を取り入る方が、よりよいものになるように思います。 忍者に関してもそうです。先日、何十年ぶりに上野市駅を訪れた人が、忍者市駅の名前を見て、苦笑いをして、惜しんでいました。そう判断する冷めた市民も少なくありません。 最近忍者に頼りすぎて、他の伊賀の良さが見えなくなっているようにも思えます。 この頃は、甲賀に押されているとの話も聞きました。 確かに、忍者の発信も必要だと思います。歴史も興味深く、他市にない伊賀のブランドの一つです。でも、同時に、伊賀には他にも素晴らしいものが沢山あることに、多くの市民自体も気づいてないのではと、残念です。 *時代を問わず現在も尚、文化芸術、政治経済などの著名人が多い。 *米、酒、和菓子等美味しいものに恵まれている。 *様々な時代の歴史的建造物、上野公園等、町並みや景観がよい。 *街を外れれば、自然に触れる事ができる。等。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
17-2	全般	—	そこで、 *芭蕉さん、元永定正さん他も、もっと発信をして、そういった美術館的なものがあればと思います。新図書館に、様々な分野の人物紹介のコーナーを設置することをご検討ください。 *商店街を活性化する取り組みを重視してほしいです。 *赤井家、崇廣堂などの活用などは、市民にとっても有り難く、今後とも、建造物や町並み保全や活用を続けてほしいです。 これ以上、限られた宿泊観光客重視でなく、市内外の誰でも気軽に利用できるものにしてほしいです。 上野公園等、自然にも恵まれた場所は、今のままの良さを活かして遺してください。 *最近の伊賀市は市街地ばかりを重視しているのではと、旧上野の市街地に生まれ育った自分でも感じるがあります。旧郡部の支所や公共施設などを軽視することなく、市街地の計画を進めてください。 現在田舎に住んでいると、自然にあふれた場所をこれ以上壊さずにと願わずにいられません。 同時に、この良さを知らない市民(以前の私もそうでした。)や、都会の人(訪れた人は、必ずという程、山や森の姿に感動します。中には涙を流す人もいました。)、外国からの人、伊賀市の子どもたち、様々な人に、市街地だけでなく、伊賀全体の魅力を知ってもらいたいと思っています。そうすることで、伊賀を大切に感じたり、何度も訪れたいと思ってもらえるのではと考えています。 だから、市街地、田舎、どちらの魅力にも溢れた伊賀市として、伊賀線やJR、バスなど、公共交通機関で、各地域を上手く繋いだ計画を立てていただけないでしょうか。交通の活性化だけでなく、地域の農林や食、工芸など産業の振興にも繋がるように。商店も栄えるように。市民も楽しめるように。これまでも様々な取り組みはしてくださっていますが、更に、そうした伊賀市民全体がよくなることを視野にした計画にすれば、市民の関心や協力も増え、伊賀市が、素敵な所になり、他所からの注目も得られると思います。 今のままでは、市民は蚊帳の外、市街地に住む人でさえ、そうではないでしょうか。 市民がこの街を好きでないと、満足して暮らしてないと、他所から人に訪れてはもらえない、来てもらっても、居心地はよくないだろうと思います。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—

番号	対象	箇所	意見等 (原文のまま)	意見への対応	反映
17-3	全般	—	特に今、新図書館計画に関して、期待とは違ったがっかりな思いを抱えている市民は多くいます。でも、既に諦めになりつつあります。せっかくの伊賀の遺産である建造物を民間に丸投げの形で、観光客にも市民にも、不十分な施設を作る計画だと思っています。様々な問題点が素人でも感じられ、採算も心配です。 多額の税金をかけながら、とても市民の方を向く計画とは思えません。民間を入れることは丸々否定はしませんが、昨今、図書館は全国的にも話題が多く、市民にとっての大切なものであり、何より子どもたちに大きな影響を与えるものなのに、市民の伊賀を思う心からの意見に立ち止まり、考え直すこともせずに、中途半端な妥協で進めていることが不安です。 あまりに少ない情報発信と、ワークショップなどのあり方にも不満を感じています。 多分このまま図書館の計画は進むのだと思いますが、今後は、何事も少しでも市民が関心をもてるような発信、声を伝えやすい環境作りをお願いします。 誰でも気軽に無記名でも意見を伝えられるようなポストのようなものを市役所や支所などに置いていただけたら有難いです。 まだまだパソコンなどに精通しない市民も多いです。 どうか、今の私たちがいなくなる数十年先、もっと先の人たちも、遺しておいてくれてくれてよかったと喜べるような伊賀市であるようによろしくお願いします。計画に参加できる人は限られていても、誰のことも漏らさずにと、視野の広い、思慮の深い、市民主体の考えのもとで進めてください。 これまで先人が遺してくれたものに、これだけ恵まれた私たち伊賀市民は、今度はこれからの人たちにもその恩恵を大事に繋がなくはいけないのだと思っています。それが、全国や世界にも発信できるくらいに。 ここだけ、自分たちだけでなく、伊賀市がよくなることで、社会全体もよくなるように、そのくらいの思いで、よい街をつくってくださるように、どうかよろしくお願いします。	今後の計画策定、活性化事業協議時の参考意見とさせていただきます。	—